

小故事 大智慧

# 永存记忆的日文真情故事

心に残る感動的なお話



李燕 佟利功/编译

岁月荏苒，生命如歌。也许记载回忆的日记本已经微微泛黄，散落在被遗忘的角落里。但是有这样的故事，有这样的回忆，在我们的生命中散发着永久的芬芳，使我们有勇气面对人生道路上的挫折与起伏，坚持着心中那份感动与爱，微笑着继续前行……



中国宇航出版社



小故事 大智慧

# 永存记忆的 日文真情故事

心に残る感動的なお話



李燕 佟利功/编译



中国宇航出版社

·北京·

版权所有 侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

永存记忆的日文真情故事 / 李燕, 佟利功编译. —北京:  
中国宇航出版社, 2008. 6

(小故事 大智慧)

ISBN 978 - 7 - 80218 - 372 - 8

I. 永... II. ①李... ②佟... III. 汉语—日语—对照  
读物 ② 故事—作品集—世界 IV. H369.4:I

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 050828 号

策划编辑 战 颖 封面设计 03 工舍

责任编辑 战 颖 李土振 责任校对 李 力

出版 中 国 宇 航 出 版 社  
发 行

社 址 北京市阜成路 8 号 邮 编 100830  
(010)68768548

网 址 [www.caphbook.com](http://www.caphbook.com) / [www.caphbook.com.cn](http://www.caphbook.com.cn)

经 销 新华书店

发行部 (010)68371900 (010)88530478(传真)  
(010)68768541 (010)68767294(传真)

零售店 读者服务部 北京宇航文苑  
(010)68371105 (010)62529336

承 印 三河市君旺印装厂

版 次 2008 年 6 月第 1 版 2008 年 6 月第 1 次印刷

规 格 880 × 1230 开 本 1 / 32

印 张 9.25 字 数 182 千字

书 号 ISBN 978 - 7 - 80218 - 372 - 8

定 价 17.80 元(赠 MP3 光盘)

本书如有印装质量问题, 可与发行部联系调换

## ● 前言



岁月荏苒，生命如歌。也许，记载回忆的日记本已经泛黄，散落在被遗忘的角落里。但是，有这样的故事，有这样的回忆，在我们的生命中散发着永久的芬芳，使我们有勇气面对人生道路上的挫折与起伏，坚持着心中那份感到与爱，微笑着继续前行……

本书收录了近百篇的日文动人故事，或许您作为一名日语学习者和爱好者，终日埋头于日文单词、日文语法的茫茫书海之中，可越来越觉得学习枯燥无味；或许您为准备各种等级考试，翻烂了习题集、练习册，熬红了眼圈，可成绩还是不尽如人意；或许您学了很久的日文，可还是无法脱口说出纯正、流利的口语。那么，就请翻开这本写满爱的故事的书吧，感受另外一种不同的诗情画意，不仅可以放松您的大脑，调剂您的心情，还可以帮助大脑活跃思维，提高学习效率。让您每日有意外的收获。这何尝不是一种日语学习的良策？

在文章的选取上，编者颇费了一番心思，收集了日本最新的各类阅读资料，力求内容新颖时尚，又不失深刻内涵。

本书所附 MP3 光盘收录了所有文章的配乐朗读，外国专家纯正标准的发音，在您欣赏美文的同时，对您的口语、听力也有着潜移默化的影响。

希望本书能给日语学习者提供一个心灵憩息的家园。在阅读美文的同时感受日本独特的文化气息，体味人生道路上的点点滴滴。

一篇篇美文好似滋养心灵的鸡汤，每日给人生注入新的力量与智慧。

编者

2008年6月

从2007年10月开始着手组织《日语美文》的选材工作，到2008年6月完成全部文章的收集、整理、审阅、校对、排版，前后耗时近8个月。在此期间，我曾多次向日本友人和国内读者征求意见，但因时间仓促，疏忽之处在所难免，敬请批评指正。在此感谢所有为本书付出辛勤劳动的朋友们！

《日语美文》的出版，是日本友人和国内读者的共同愿望，也是我们的一片诚心。希望本书能给日语学习者提供一个心灵憩息的家园，帮助大家在阅读美文的同时感受日本独特的文化气息，体味人生道路上的点点滴滴。

书稿完成后，曾向日本友人和国内读者征求意见，但因时间仓促，疏忽之处在所难免，敬请批评指正。

（原载于《中国青年报》，有删节）



## 目录

### 第一章 慈母之爱

かげ 陰から見守ってくれた実母	みまも 默默守护着我的妈妈	じつぼ 3
はは 母からのビデオメッセージ		4
かあ 母さんはいつでもあなたを待っている	まつまつ 妈妈留下的录像带	6
なん 何でこんなに心配してくれるの	まつまつ 妈妈永远等着你	7
なぜ 为什么这么担心我	まつまつ 妈妈永远等着你	10
スponジケーキ		13
はは 母の遺した手紙	てがみ 西式蛋糕	14
なぜ 妈妈留下的信		16
おも プランコの思い出	て 秋千的回忆	17
はは 母にかなわぬ親孝行		19
なぜ 没有实现的孝心	て 秋千的回忆	20
き 気づけなかった母の愛		21
なぜ 没有意识到的母爱	て 没有实现的孝心	22
		23
		24

わた 渡せなかつた卒業証書	そつぎょうしょしょ	25
没有呈给你的毕业证		26
はじ 初めての海外旅行	かいがいりょこう	27
第一次海外旅行		28
のこ 残された洗濯物	せんたくもの	29
剩下没洗的衣服		30
かぎ 限られた時間に何ができるのか	じかんなんに何ができるのか	31
在有限的时间里能做些什么		32
くさ 草が茂る空き地	しげあきち	33
乱草丛生的空地		34
ありがとうと言えずに	い	35
没等我说声谢谢		35
じまん 自慢の家族は取り戻せるから	かぞくとものど	37
因为挽回了那份宝贵的亲情		38
はじ 初めての母の涙	ははなみだ	40
妈妈的眼泪		41
むすこ 息子の好みを今でも覚えている	このいまおぼ	42
至今还记得儿子的口味		42
つら 辛いことがあったら、いつでも電話をください	でんわ	44
有了难心事 随时来电话		45
かあ お母さんはいつでもあなたの味方よ	みかた	46
妈妈永远站在你这边		47
<b>第二章 严父之爱</b>		
ほんとう 本当の親子になれた日	おやこひ	51
真正成为父女的那天		52

ひと ちち おもで たつた一つの父の思い出	父の父の想ふ愛の想	54
关于爸爸的唯一回忆	父又把想爱的想	55
おやじ 親父のスキヤキ	新舊さす情	57
爸爸的日式火锅	新庭园爸爸	58
いちど あ もう一度だけ会いたい	過渡式の想ゆる想	60
好想再见他一面	新詩中老父	61
げんぶ 厳父からの手紙	れー工の信	63
严父的来信	深庭外古事	64
おやじ 親父がひた隠すツラ	お父がうれし顔	65
爸爸隐瞒的假发	お昔の母父頭	66
こんな些細なことを	アホい事	68
这般小事	人情全	69
たとえどんな理由があつたとしても	三十而慾	71
不论是什么原因	三十而慾	72
おれ 俺たちのために	う重の言葉	73
为了我们	重語	74
すうじ 数字の書かれていた紙	文體大々其國子題	76
写满数字的纸	舊古文書空研磨	77
ころ もど あの頃に戻れたら	父の父の想ふ愛	78
如果能回到从前	お母け子の想ゆる想	78
ちち なみだ 父の涙	お父さんも想さねよ至始終	80
爸爸的眼泪	晴朗正午晴對歌詞女真代國	80
つよ おやじ よわね 強かつた親父の弱音	お父ち大前の大前の父の歌	82
坚强父亲的懦弱	大前歌父弱歌父	83

こども びょうき かく ちち すがた 子供に病気を隠す父の姿	出でる父の姿	84
对孩子隐瞒病情的父亲	中国一歩歩き者	85
ちち せだ ばら 父が育てた薔薇	子守歌の父	86
爸爸的玫瑰花	詩人方日向者	87
ちち おも つ ふうとう 父の思いが詰まつた封筒	心が詰まつた封筒	88
塞满父爱的信封	第一封亲恩报答	89
むごん 無言のエール	語りのさや父	91
无言的安慰	音楽の父	92
おや おぬ せつ 親を追い抜く切なさ	ママと離れて	93
超越父母的苦闷	失母的离别者	93
みんなで	きらこき離れて	95
全家人	車小道	95
と止まつたままの10年	止まつたままの10年	97
停滞的十年	因噎止食者	98
ちちおや せきにん おも 父親の責任の重さ	おやじのさ	99
父亲责任的重量	作業者	100
さとう しお まちが おやじ 砂糖と塩を間違った親父	誤りの父	101
把盐和糖弄错的爸爸	罪悪者	102
じよしゅせき すわ ちち すがた 助手席に座る父の姿	助手席の父	103
坐在副驾驶位上的爸爸	情人眼色者	104
それが正しいと思うからだよ	正直者	105
因为我觉得那样做是正确的	正義者	106
はじ し ちち いだい 初めて知った父の偉大さとは	最初の父	107
第一次知晓父亲的伟大	伟业者	108

まちが 間違いなく、あなたはこの子の父親です	109
没错你就是这孩子的父亲	110
むすめ 娘が上京するんです。よろしくお願ひします	111
我女儿今天去东京,一路拜托了	112
<b>第三章 恋人的爱</b>	
もとかのじょ 元彼女からもらったプレゼント	115
前女友送我的礼物	115
ずっと、たくさん食わしてやりたい	117
我想永远让你吃个够	118
かのじょ 彼女の好きだったものは、あまり食べたくない	119
她喜欢的东西,我不想吃	120
いまだにあれ以上 の写真は取れてない	121
最美的照片	122
きみ 君と結婚するって言ってたんだよ	124
漫长的婚约	125
しょうがい 生涯二人の男性を愛し続けた	127
一生中爱着两个男人	128
<b>第四章 儿女之情</b>	
ここりいや 心癒す息子のチュー	133
抚慰心灵的儿子的吻	134
わが 別れた息子とディズニーランド	136
跟分开的儿子去迪斯尼	137

子供の優しい気持ち	139
孩子的爱心	140
娘が貼ってくれた絆創膏	141
女儿的创可贴	142
字を覚えたのは何のため	143
为什么要学写字	144
やさしい子に育ってくれてありがとう	145
谢谢你我懂事的孩子	146
大きな大きな子供の力	148
小孩子大力量	149
俺がお前の目の代わりになってやる	150
我做你的眼睛	151
涙、戻ってきちゃダメ！	152
眼泪, 不许再回来	153
あと24時間の命だったら、私はこうする	154
如果我还能活 24 小时, 我要……	155
大切な心のつながり	156
心与心的牵绊	157
戦争のある国の親の気持ち	159
战争国度的父母之爱	160
産まれてきてくれて有難う	162
谢谢你来到这个世界	163
娘が作ったお弁当	165
女儿帮忙做的便当	166

## 第五章 家人的爱

父と母が名前で呼び合うのを聞いたのは	169
第一次听到爸妈喊彼此的名字	170
両親はずつと俺のことを心配してた	172
父母一直惦记着我	173
母は愛されてたんだと知った	174
妈妈原来是被爱着的	175
最後まで守ってあげられなくてごめんな	176
不能守护你们到最后,对不起	177
家族に自分のことを忘れてもらえるように	179
为了让家人忘了我	180
貴様飲め!	181
留给你的药	182
これでアイスでも食え	184
拿这去买冰激凌吃吧	184
家庭が壊れたら仕事する意味ない	186
家庭破裂了,工作也就失去意义	186

## 第六章 他人的爱

私が看護婦を目指す理由	191
我想要成为护士的理由	191
借金の取り立て屋の涙	193
讨债人的眼泪	194
郵便屋さんが体験した切ない話	196
天堂里的爱	197

おれ 俺はお前に会えてよかつた	198
很高兴能遇到你	199
さいご 最後にもうちょっとだけ声を聞かせてほしい	201
最后再让我听听你的声音	202
その子乗せてあげて、私一つ後でいいわ	204
让这孩子上来吧,我坐下一艘	205
お! いい女だなあ	206
喂,可真是个美丽的女人啊	207
なき 情けは人のためならず	208
好心必有好报	209
でも、やっぱり自分は譲りたい	210
但是,我还是希望能有人让座	211
じんせい 人生の不条理や苦痛を感じられ幸せだと思え	212
挫折、痛苦也是一种幸福	213
みな 皆、見ててくれてたんだ	214
大家都注意着我	215
はや 早く暖かな季節になりますように	217
希望天气能快点转暖	218
とき あの時の運転手さんのことは一生忘れない	219
我一辈子也忘不了那天的那个司机	220
みんな 皆同じこと考えてたんだ	221
大家想得都一样啊	222
おれゆうびんや 俺郵便屋になってよかつた	224
真幸运自己成为一名邮递员	225

## 第七章 父亲的酒

おやじ ゆめ 親父の夢をかなえて、そして	229
圆了爸爸的梦	229
さいしょ さいご さかも 最初で最後の酒盛り	231
第一次也是最后一次喝酒	231
かな おも 叶わなかつた思いが詰まったワイン	233
装满遗憾的红酒	234
おいゆく おやじ せつ さけ 老いゆく親父の切ない酒	235
年迈老父的伤心酒	235
ちち むすめ おも 父が娘に思うこと	237
爸爸对女儿的爱	238
すなお だ むすこ おも 素直に出せない息子の思い	239
无法坦诚表露心意	239
おやじ よわ 親父が見せた弱さ	241
爸爸的脆弱	242
みな の いみ 皆で飲んだビールの意味	243
全家人一起喝啤酒的滋味	244
おやじ しゅうしょくいわ 親父の就職祝い	245
爸爸陪我喝就职庆功酒	246

## 第八章 兄弟之情

いちど もう一度キャッチボールをしたかった	249
我想再玩儿一次投球	250
たたか いじめと戦ってくれた兄貴	252
哥哥是我的保护神	253

ひつし そだ おとうと せいちょう 必死で育てた 弟の成長	断续亲父 章子	255
拼命把弟弟拉扯大		256
やさ つ ふうりん 優しさを告げる風鈴	すこやかたまごめい	257
述说着爱的风铃		258
ふる あに き て こえ ぜつたいわす 震える兄貴の手を声を、絶対忘れない	いながくの弟の手を、絶対忘れない	259
忘不了哥哥那颤抖的手和声音		260
いちど おれ いもうと もう一度俺の妹になってくれ	またおもての妹になってくれ	261
再做一次我的妹妹		262
おとうとおも あに おし たま 弟思いの兄だったと教えてくれたビー玉	おとうとおも あに おし たま	263
玻璃球教给我的兄弟情		263
あね はは つた うれ ことば 姉が母に伝えた嬉しい言葉	ちのうを語る	265
谢谢你，妹妹		265
あま いつもより甘いあんまん	いつもより甘いあんまん	267
最甜的小豆包		268
ねえ たんじょうび お姉ちゃんの誕生日プレゼント	お姉ちゃんの誕生日プレゼント	269
送给姐姐的生日礼物		269
<b>第九章 朋友之爱</b>		
いつしょうわす ことば 一生忘れない言葉	一生忘れない言葉	273
一生难忘的话		273
かえ かん いつか返せたドラえもんの3巻	いつか返せたドラえもんの3巻	275
《机器猫》的第三卷		276
なに なんねんた 何があっても何年経ってもそのまま	何があっても何年経ってもそのまま	278
永远不变		279
なんじゅうねん ともだち 何十年たってでも友達でいてください	何十年たってでも友達でいてください	281
不论多少年后，请你还做我的朋友		282



第一章

# 慈母之爱

